

ハーモニーⅣ 令和6年度実績及び令和7年度目標値一覧【基本目標Ⅱ】

【資料1】

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値(年度)	目指す方向	目標値(令和5年度)	実績(令和5年度)	目標値(令和6年度)	実績(令和6年度)	目標値に対する現状分析、課題	目標値(令和7年度)	担当課
Ⅱ 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	1 男女共同参画意識の普及・啓発	男女共同参画に関する啓発誌の発行回数	4回 (令和2年度)	↗	3回	2回	3回	2回	次のとおり啓発紙を発行したが、目標値に届かなかった。 ・「かすたねっと」(年1回発行) ・「はばたけ未来へ 自分らしく生きていこう」 令和6年度は、紙媒体ではなく、デジタル媒体の積極的な活用について、検討していく。	2回	多世代交流プラザ
		固定的な性別役割分担に反対する男性の割合	45.4% (令和2年度)	↗	82.0%	77.2%	82.0%	78.7%	男女共同参画普及員研修会・男女共同参画基礎講座により、固定的な性別役割分担について、理解を深めることができたが、目標値には到達しなかった。 今後も意識啓発を促す講座を行っていく。	82.0%	多世代交流プラザ
		男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	559人 (令和2年度)	↗	2,000人	2,522人	2,600人	1,705人	男女共同参画意識の高揚を図ることを目的とした各種講座を開催したが、目標値には届かなかった。 ・講座 1,031人 ・講演会 224人 ・映画会 450人 引き続き、魅力ある講座の企画運営や効果的な周知を行っていく。	1,800人	多世代交流プラザ
		子育て支援室各種講座への男性の参加人数	125人 (令和2年度)	↗	300人	242人	300人	237人	今後も男性が参加しやすいような日時の設定や講座内容の見直し・改善を行うと共に男性来館者への周知の徹底する。	250人	子育て世代包括支援センター
		普及員設置区数	33区 (令和3年度)	↗	27区	27区	30区	31区	区から地域協議会が設立されている地域では普及員を配置せず、その活動を地域協議会へと移譲することの要望があるが、普及員の数は令和4年度は43人、令和5年度は49人、令和6年度は56人と実績は毎年伸びているため、改定に向けた検討の折には、男女共同参画普及員のあり方も含め検討することとする。	31区	多世代交流プラザ
	2 子どもにとっての男女共同参画	将来の夢や目標を持っている子どもの割合	82.4% (令和2年度)	↗	85.0%	79.8%	85.0%	77.5%	「今は、夢を持っていない」と回答した割合は、小5年の11.9%に比べて、中2年23.8%、高1年30.1%と非常に高くなっているが、これは小学生が憧れとしての夢を描いているのに対して、自己理解が深まる中高生は実現可能な夢を探し始めることが、中高生がなかなか夢が持てない要因の一つとなっていると考えられる。こどもたちが夢へのチャレンジ精神を育めるよう、こども・夢チャレンジ推進事業を充実させていく必要がある。	85.0%	こども政策課

ハーモニーⅣ 令和6年度実績及び令和7年度目標値一覧【基本目標Ⅱ】

【資料1】

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値(年度)	目指す方向	目標値(令和5年度)	実績(令和5年度)	目標値(令和6年度)	実績(令和6年度)	目標値に対する現状分析、課題	目標値(令和7年度)	担当課	
Ⅱ 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	2 子どもにとっての男女共同参画	男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	2校 (令和元年度)	↗	3校	3校	3校	3校	令和元年度より希望した中学校のみで出張講座を実施していたが、令和5年度からは毎年3校ずつの輪番制として実施することとした。	3校	多世代交流プラザ	
		生と性のカリキュラムの実施 (小学校・中学校+高校)	23校 (令和2年度)	↗	27校	27校	27校	27校	28校	小中学校においては、命の授業の実施が定例化しつつある。高校においては、継続的に授業を行っている学校もあるが、市内全校実施には至っていない。今後は未実施の高校でも授業を行うことが出来るとよい。	28校	保健センター
		生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施校数	13校 (平成30年度)	↗	17校	22校	25校	25校	20校	完全実施した学校は、小学校11校、中学校9校。それ以外の小学校5校は特定学年のみ完全実施した。 生と性のカリキュラムは小中学校全学年で2時間計画されており、完全実施に向けて取り組んでいる。児童生徒の現状を踏まえ、令和5年度は、指導内容を見直し、指導案を作成した。令和7年度は令和6年度同様、市内全小中学校で完全実施できるよう取り組んでいきたい。	25校	学校教育課
		職業体験実習の実施(中学校)	9校 (平成30年度)	↗	9校	9校	9校	9校	9校	キャリア教育の柱として全中学校で当初から計画準備をしていた。職場体験を通じて働くことの意義を実感し、将来の職業選択に対する意識を高めることができた。また、人間関係形成力など社会で自らの役割を果たすために必要な力を身に付けることができた。	9校	学校教育課